

収蔵品管理システム 「スサノオブック」 操作マニュアル バーコード編

第三版

株式会社グラス

目次

1. バーコードの種類	3
2. バーコード生成	7
3. バーコード印刷	15
4. バーコード設定	20

1. バーコード

1. バーコードの種類

【種類】

下記のデータにバーコードを利用します

- A:収蔵品
- B;作者
- C:カルテ
- D:掲載等
- F:出品
- G:人会社
- Q:施設
- R:部屋
- S:棚
- T:段
- U:地域
- V:場所
- W:エリア
- X:詳細
- P:写真
- M:函面

【コード】

コード1桁+数値8桁 で構成しています

コード1桁はAからMです

数値8桁は1からの連番です

収蔵品は[A00000001]から始まります。

画面で入力するときは[a1]を[A00000001]に変換して検索します。

2. バーコードでできること

【共通】

- ・バーコード検索

【収蔵品】

- ・収蔵品の保存場所登録
- ・収蔵品の収集場所登録
- ・収蔵品の寄贈者登録
- ・収蔵品の購入先登録
- ・収蔵品の作者登録
- ・収蔵品の関連収蔵品登録
- ・収蔵品の出品登録
- ・収蔵品の使用登録
- ・収蔵品の返却
- ・収蔵品の場所登録
- ・収蔵品の棚卸

【出品】

- ・出品収蔵品の登録
- ・出品情報の出品先登録

【人・会社】

- ・使用収蔵品の登録

【保存場所】

- ・施設の保存場所用の図面登録
- ・部屋の保存場所用の図面登録
- ・棚の保存場所用の図面登録

3. バーコード読み込み

【 iPad 】

iPadのカメラ機能でバーコードを読みます

【 パソコン 】

下記のウィンドウで読みます



○バーコードリーダーを利用する

バーコードリーダーでコードを読み「バーコード入力」をクリックします

○手入力

コードを入力して「バーコード入力」をクリックします

コードは[a1]と数字の0は省略できます

2. バーコード生成

1. バーコードの生成

取藏品

検索 収録品管理 写真追加 印刷 戻る

MENU 一覧 1 / 29 [29] コピー カット 貼付け

基本 情報 作者 関連品 写真 カルテ 掲載 出品 使用 移動 場所 図面

連番 1
型式 名称 作文「不平」
備考 中学4年
種類 種類1
分類
作者名
収集場所 1 中村元記念館 1 第1書庫(耐火) 1-A-1 第1書庫-A 1-A-1 第1書庫-A 1-A-1
Q00000001 R00000001 S00000002 T00000002 収集場所
法量縦 20cm 横 30cm 高さ 重さ
材質 紙 形態 原簿用紙
製作年 1929 取得価格 取得年月日 2012/04/01
保存場所 中村元記念館 3 第3書庫 3-C 第3書庫-C 3-C-3 第3書庫-C 3-C-3
Q00000001 R00000003 S00000223 T00001297 保存場所

資料解説
付属品等
書誌名
OPAC PAGE
寄贈者 寄贈者選択 表示 G00000001 三木純子 寄贈者
購入先 購入先選択 表示 購入先

バーコード生成
A00000001
データ登録

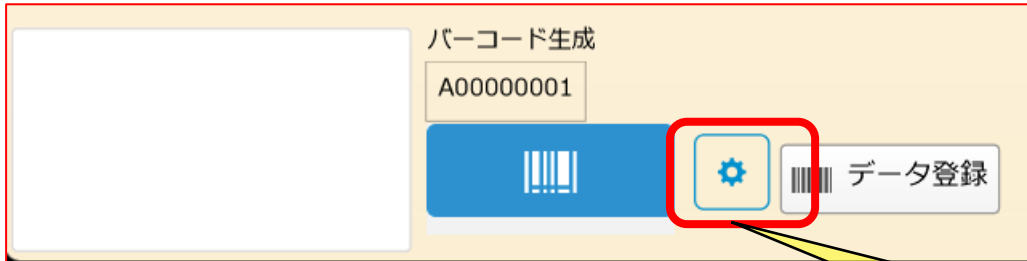
バーコード生成
A00000001
データ登録

バーコード生成ボタン

バーコード生成ボタンをクリックでバーコードを作成します

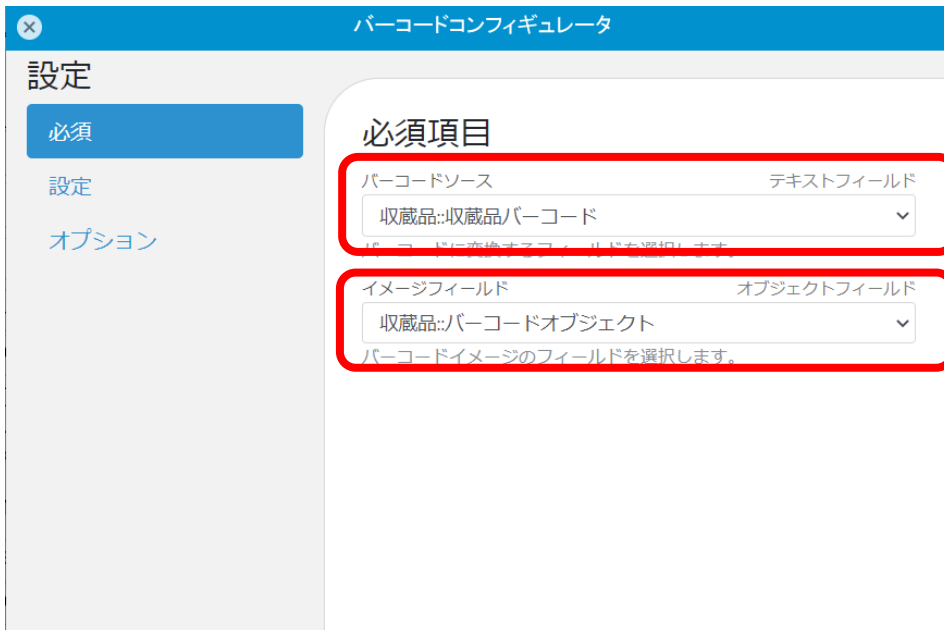
バーコード生成
A00000001
データ登録

2. バーコードの設定



バーコード生成ボタンをクリックでバーコードを作成されないときは設定ボタンをクリックしバーコードフィギュレータで設定します

バーコード設定ボタン



バーコードソースはテーブル名+”バーコード”
バーコードフィールドは”バーコードオブジェクト”
を選択してください。下記が設定例です

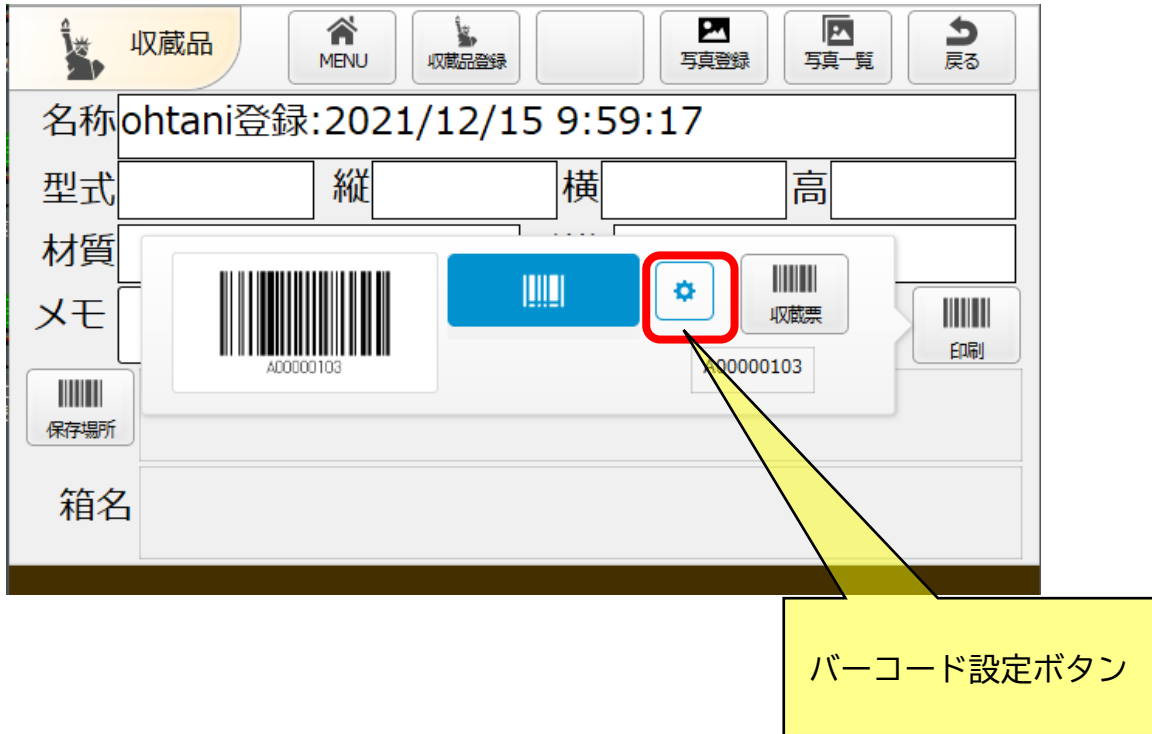
●収蔵品

- ・収蔵品::収蔵品バーコード
- ・収蔵品::バーコードオブジェクト

●箱

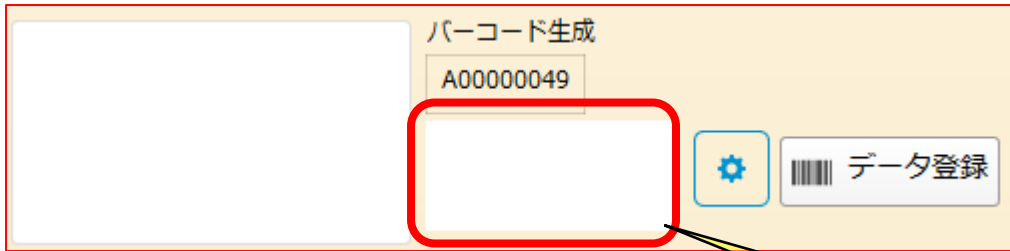
- ・箱::箱バーコード
- ・箱::バーコードオブジェクト

2. バーコードの設定 iPhone画面



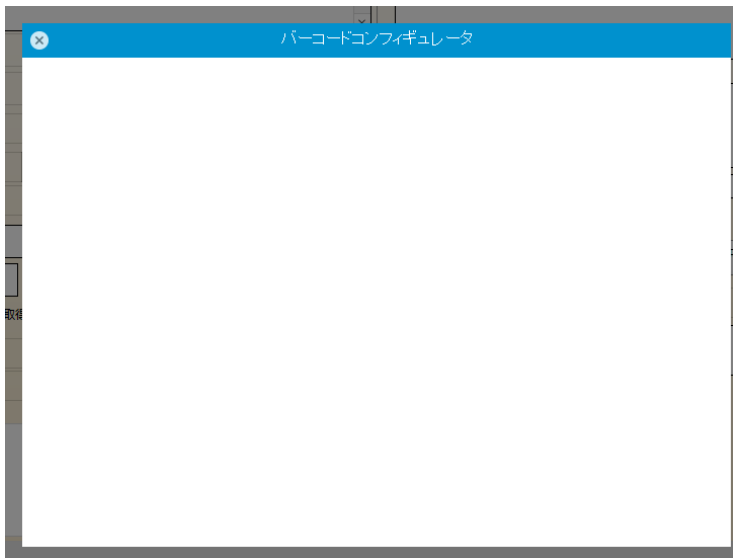
iPhone機能はパソコン用のバーコードと同じ設定方法です

3. バーコードができない



管理者モードで設定をクリックしても設定画面がでない

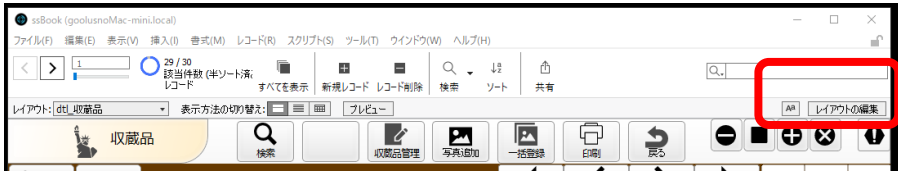
バーコード生成ボタン
がでない



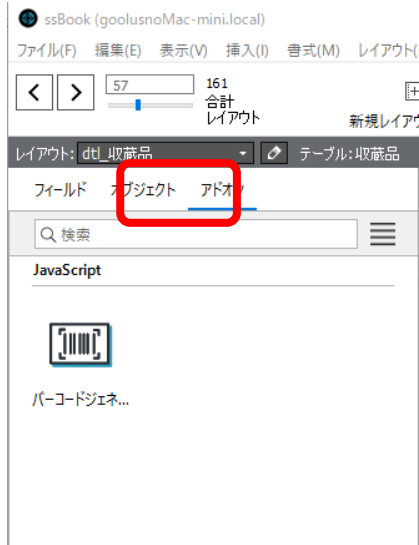
原因1:ファイルメーカーのバージョンが古い
V19以降の機能です。最新のファイルメーカーをご購入ください

原因2:アドオンに不具合が発生している
バーコードアドオンを再設定してください

3. アドオン再設定

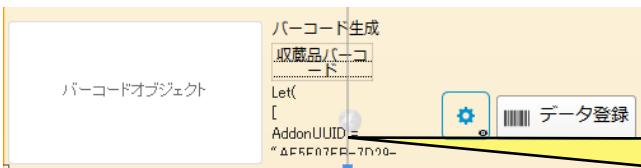


(1)Ctrl+1でメニューバーを出し[レイアウトの編集]をクリックする
[または]Ctrl+Lでレイアウトモードにする。※Ctrl+Bで戻ります

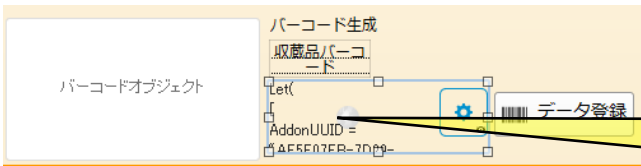


(2)画面左の[アドオン]をクリックする
[または]Ctrl+ALT+Nを[アドオン]を表示

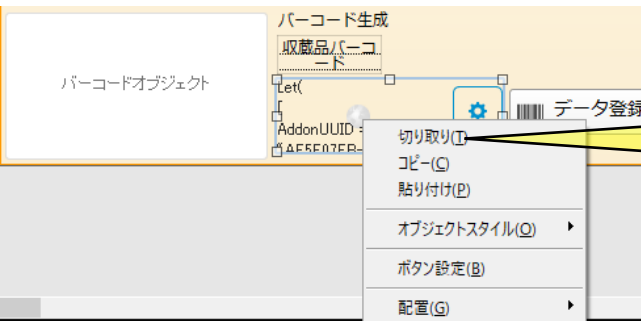
(3)[アドオン]を削除する



このあたりをクリックする

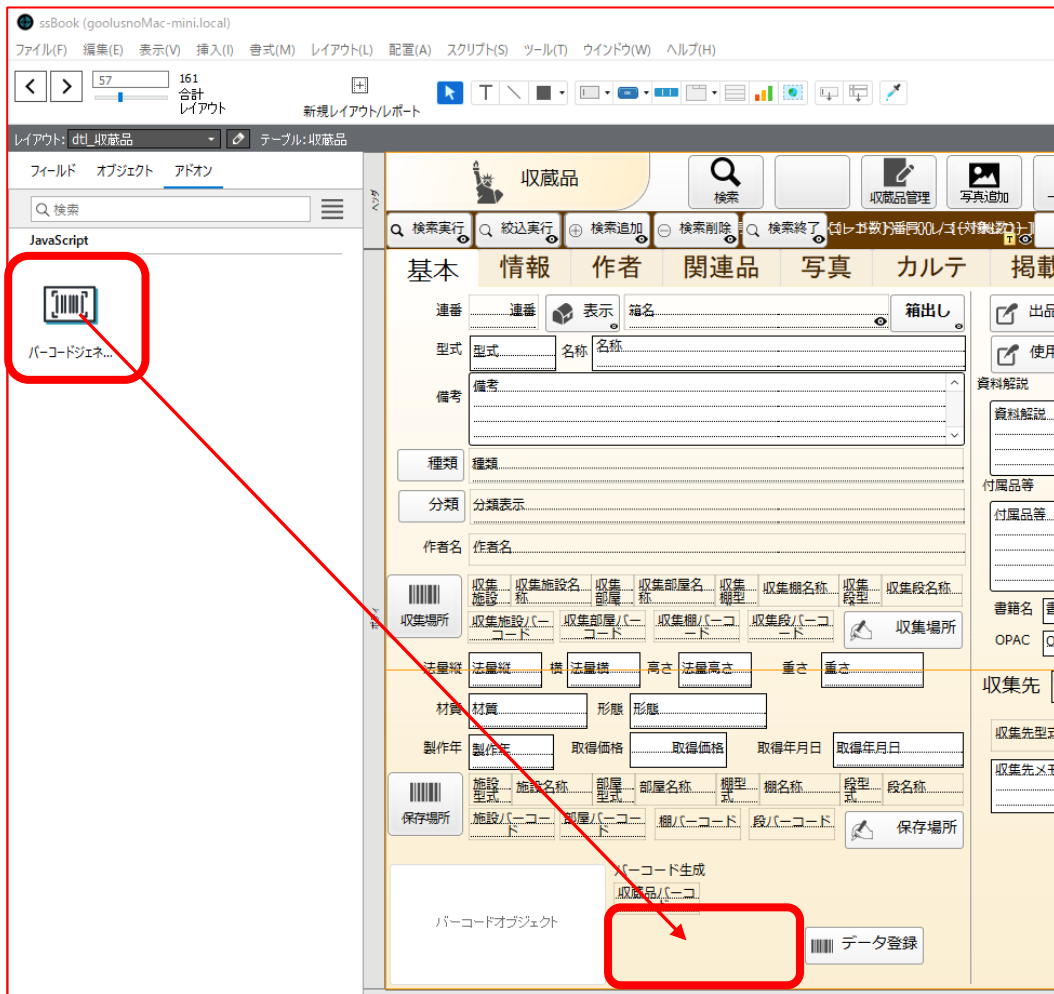


右クリックする

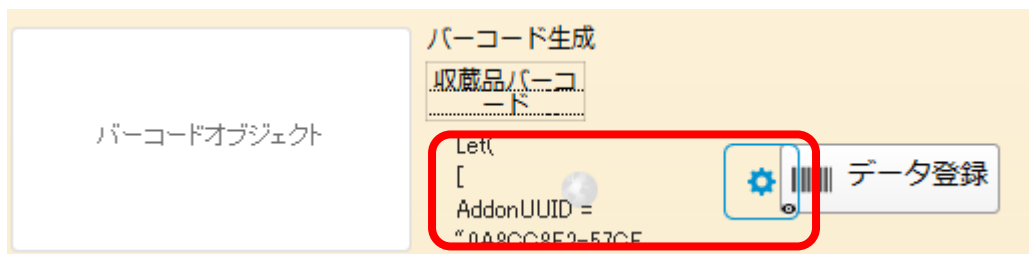


切り取りを選択する

4. アドオンをドラッグ&ドロップ

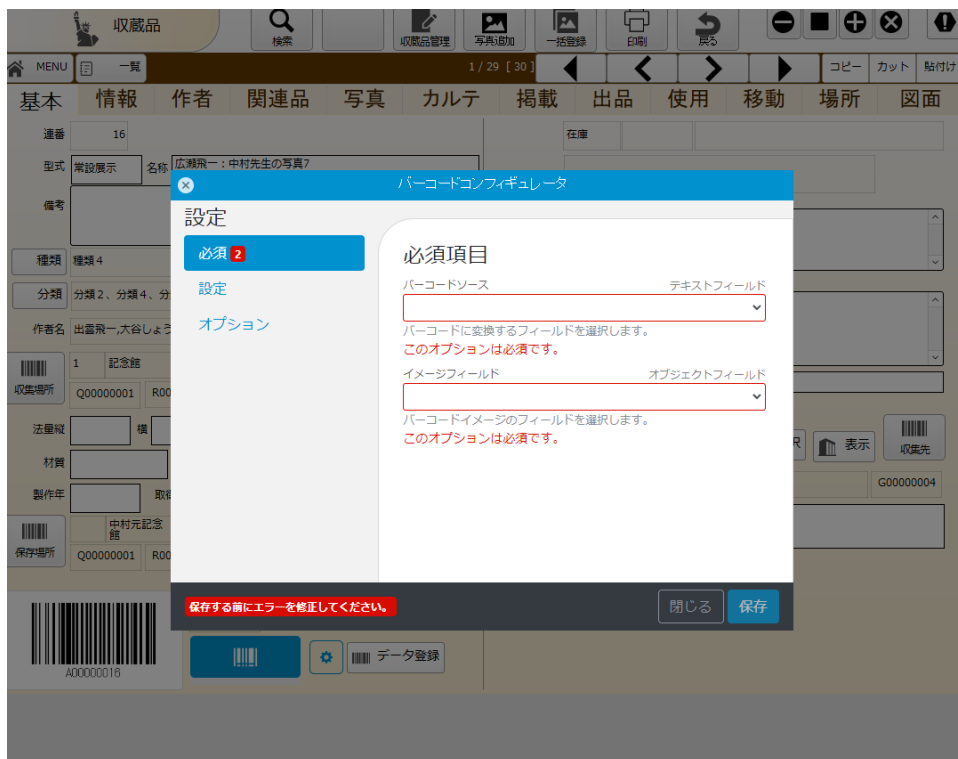


バーコードジェネ...のアイコンをドラッグ[マウスの左ボタンを押し続ける]して画面下の赤枠あたりにドロップ[移動して左ボタンを離す]する



位置がズレた場合はマウスでクリックし、矢印キーで位置を調整する

4. アドオンをドラッグ&ドロップ

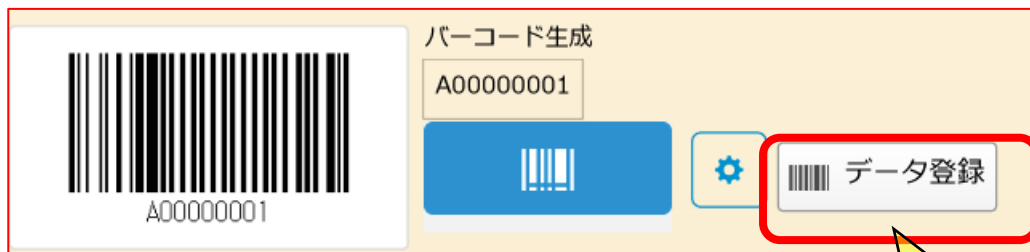


バーコードソースとイメージフィールドを設定し、保存をクリックする。

設定内容は「4. バーコードの設定」を参考にする。

3. バーコード印刷

1. バーコードの印刷



データ登録ボタンをクリックするとバーコード一覧に登録します。
一覧画面でA4用紙の一括印刷ができます。
收藏品や箱など異なる種類のバーコードが一括で印刷できます

データ登録ボタン

バーコード一覧		検索	削除	印刷	戻る	戻る	コピー	カット	貼付け
空白枚数	空白作成	空白削除							
	收藏品	A00000001		作文「不平」	2021/10/15 19:21:43	2021/11/07 16:56:19			
	中学4年								
	收藏品	A00000003	Nコレ	書籍 司馬遼太郎 S30.9.1	2021/11/07 16:56:31	2021/11/07 16:56:31			
	新年のあいさつ 封筒、便せん2枚 チケット入り								
	作者	B00000001	1	広瀬飛一	2021/11/07 16:57:02	2021/11/07 16:57:02			
	作者	B00000002			2021/11/07 16:57:12	2021/11/07 16:57:12			
	箱	H00000001			2021/11/07 16:56:46	2021/11/07 16:56:46			
	箱	H00000005	A123	ああああ 匿名: s s s s	2021/10/22 19:07:31	2021/10/22 19:07:31			

2. バーコードの印刷

印刷

用紙の途中から印刷するときは
枚数分空白を作成してください

1

2

3

1

2

削除

印刷

画面データのバーコードを
印刷します
名刺サイズです

画面データのバーコードを
印刷します
宛名シールサイズです

印刷対象のバーコードデー
タを削除します
元データは消えません

6件削除

A4用紙に10枚または12枚の印刷ができます
縦横はファイルメーカーのレイアウト変更します

収録品 作文「不平」
中学4年

箱 A123 ああああ 姓名: s s s s

収録品 Nコレ 書籍 司馬遼太郎 S30 9.1
新刊のあいつ
封筒、便せん2枚 チケット入り

収録品 作文「不平」
中学4年

収録品 Nコレ 書籍 司馬遼太郎
新刊のあいつ
封筒、便せん2枚 チケット入り

作番 1 広瀬飛一

作番

箱

箱 A123 ああああ 姓名: s s s s

収録品 作文「不平」
中学4年

収録品 Nコレ 書籍 司馬遼太郎
新刊のあいつ
封筒、便せん2枚 チケット入り

作番 1 広瀬飛一

作番

箱

収録品 作文「不平」
中学4年

収録品 Nコレ 書籍 司馬遼太郎
新刊のあいつ
封筒、便せん2枚 チケット入り

作番 1 広瀬飛一

作番

箱

箱 A123 ああああ 姓名: s s s s

収録品 作文「不平」
中学4年

収録品 Nコレ 書籍 司馬遼太郎
新刊のあいつ
封筒、便せん2枚 チケット入り

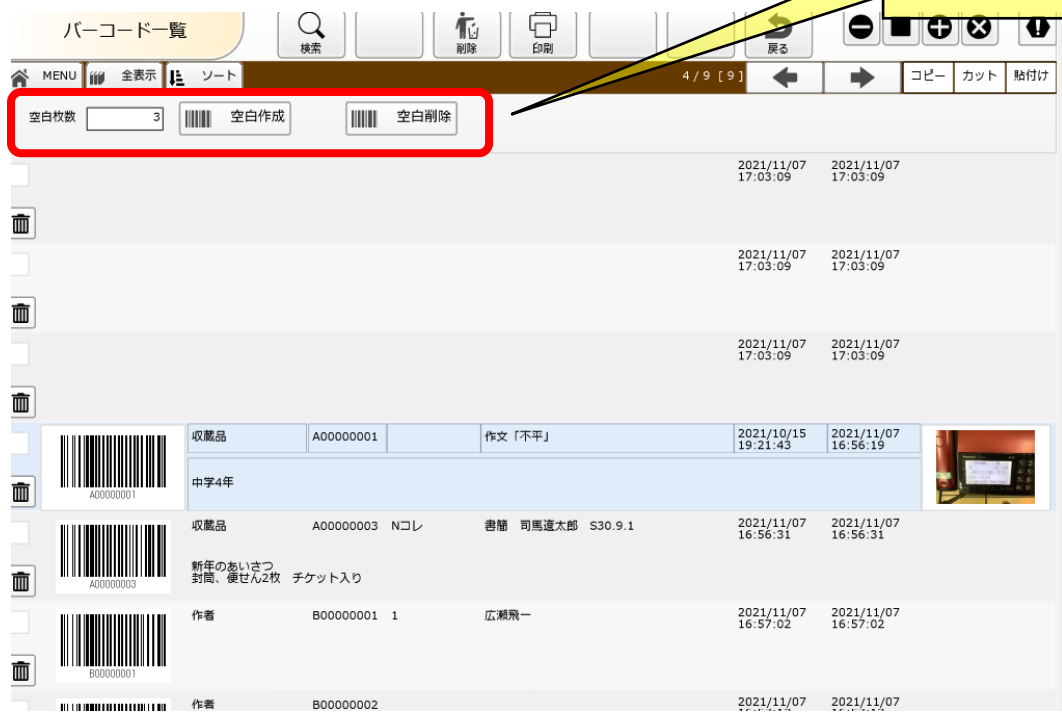
作番 1 広瀬飛一

作番

箱

3. 途中からの印刷

空白を追加します

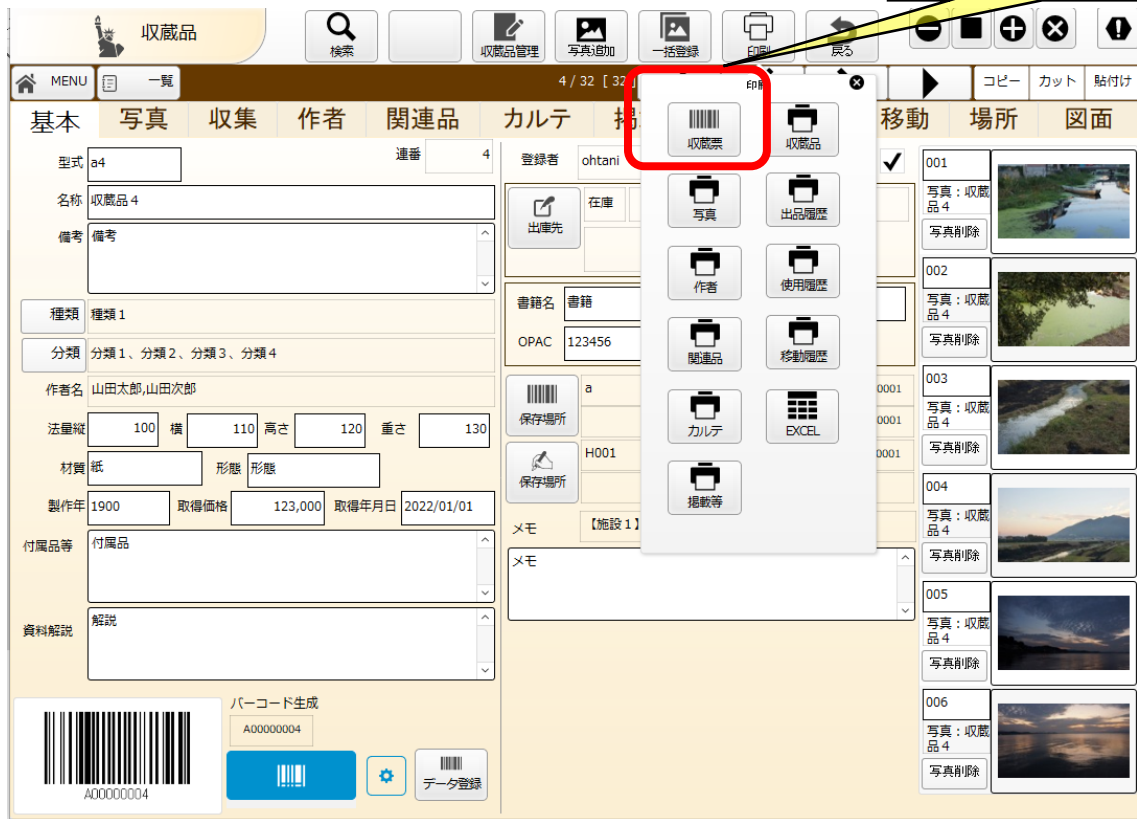


A4用紙に10枚または12枚時に空白してから印刷ができます

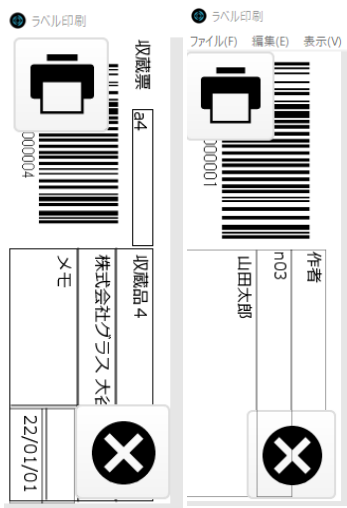


4. 一枚印刷

一枚印刷



ラベルプリンターに一枚ずつ印刷します。
システムはブラザー工業 感熱ラベルプリンター QL-820NWBで印刷しています。



4. バーコード設定

4-1. バーコードの設定

バーコードは下記で設定しています。
CODE128を使っている理由はとくにありません。
使ってみて問題なかったなので使っています。

このスクリーンショットは「バーコードコンフィギュレータ」の「設定」タブを示しています。左側のメニューには「必須」、「設定」（現在選択されている）、「オプション」があります。右側の「バーコード設定」セクションには、以下の項目が設定されています：

- バーコード形式: CODE128 (ドロップダウンメニュー)
- 使用するバーコード形式または種類を選択します。
- 線の色: #000000 (入力フィールド)
- バーコード自体の色を選択します。Web ブラウザの英語の色名文字列を使用します。例: 「red」または「#f2f2f2」
- 値を表示 (チェック済み)
- バーコードテキストの値をバーコードイメージに表示します。

下部のメッセージバーには「保存する変更はありません。」と表示され、「閉じる」と「保存」のボタンがあります。

このスクリーンショットはバーコード生成領域を示しています。生成されたバーコードは「A00000038」です。生成ボタン（バーコードアイコン）と設定ボタン（ギアアイコン）が隣接して表示されています。また、「データ登録」ボタンも表示されています。

このスクリーンショットは「バーコードコンフィギュレータ」の「オプション」タブを示しています。左側のメニューには「必須」、「設定」、「オプション」（現在選択されている）があります。右側の「オプション」セクションには、以下の項目が設定されています：

- 背景の色: #f2f2f2 (入力フィールド)
- アドオンの背景色をレイアウトの色に合うように設定します。Web ブラウザの英語の色名文字列を使用します。例: 「red」または「#f2f2f2」
- ボタンを非表示 (未チェック)
- 選択するとバーコードボタンが非表示になります。スクリプトでバーコードを生成してレイアウトにボタンを表示しない場合に便利です。完全アクセス権でログインした場合コンフィギュレータボタンは表示されたままになります。

下部のメッセージバーには「保存する変更はありません。」と表示され、「閉じる」と「保存」のボタンがあります。

このスクリーンショットはバーコード生成領域を示しています。生成されたバーコードは「A00000038」です。生成ボタン（バーコードアイコン）と設定ボタン（ギアアイコン）が隣接して表示されています。また、「データ登録」ボタンも表示されています。

4-2. バーコードの個別設定





バーコードコンフィギュレータ

設定

必須

設定

オプション

必須項目

バーコードソース テキストフィールド

▼
図画:図画/バーコード

バーコードに変換するフィールドを選択します。

イメージフィールド オブジェクトフィールド

▼
図画:バーコードオブジェクト

バーコードイメージのフィールドを選択します。

保存する変更はありません。

閉じる 保存